

全国連盟通信

発行責任者 宇野健治
置田康典
福島宏子

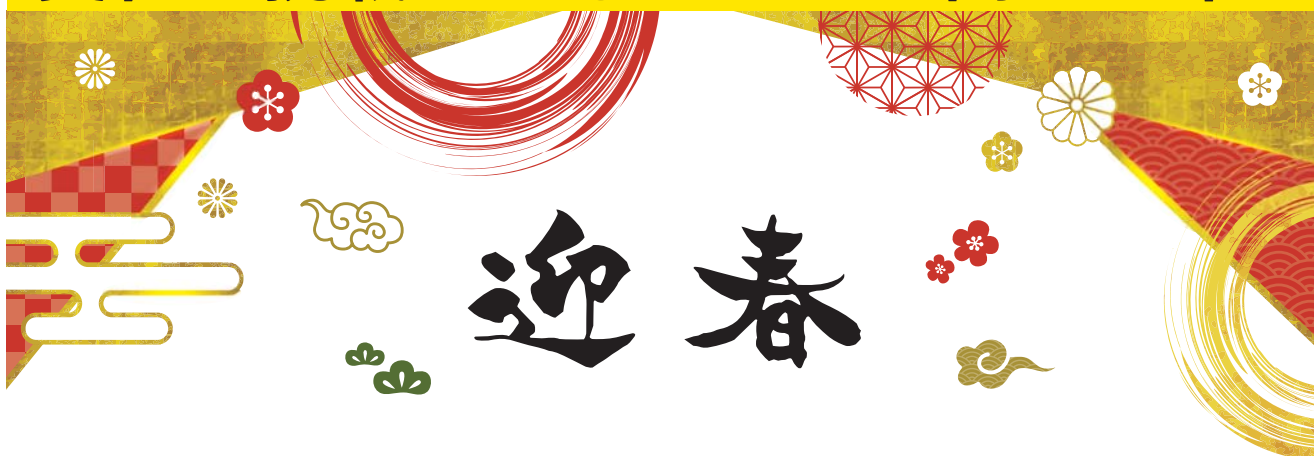
TEL : 03-5834-8726

Eメール : zenkoku@njsf.net

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22 山柿ビル3F <https://www.njsf.net>

巻頭言

変化と挑戦のエネルギーが高まる年に



みなさま、新年あけましておめでとうございます。

2025年は巳年。そして60年に一度めぐってくる『乙巳(きのとみ)』の年にあたり、変化と新たな挑戦のエネルギーが高まる年とされています。これまでの努力や準備が実を結び始め勢いを増していく時です。

そして新日本スポーツ連盟が誕生してから60年の記念すべき年です。これまで歴史を繋いでこられた方々とともに、更なる発展を誓い合いたいと思います。

昨年ドジャースの大谷翔平選手が大活躍し、夏にはパリオリンピック・パラリンピックが開催され、世界中がスポーツを通じて盛り上がった1年でした。一方で、ロシアによるウクライナへの侵略からは2月24日で丸3年、イスラエルのガザ侵攻からは10月7日で丸2年、たくさんの命が奪われています。この戦争は一刻も早く終わらせなければなりません。

希望もありました。日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)がノーベル平和賞を受賞しました。世界中から核兵器を

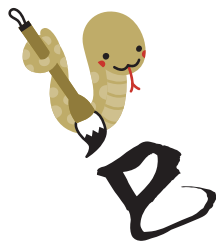
廃絶するために声をあげる時です。スポーツ連盟が毎年全国各地で取り組んでいる「反核平和マラソン」や「平和行進」はまさに平和を愛する証であり「戦争をやめて！核兵器は世界中からなくそう！」の叫びです。多くの参加を呼びかけます。

今年は戦後80年、日本の敗戦から80年、広島・長崎に原爆が投下されてから80年の節目の年です。昨年は、第35回全国スポーツ祭典が沖縄で開催され、大成功を収めました。沖縄と連帯して平和の声をあげよう！

今年の新日本スポーツ連盟は「反核平和マラソン」を発展させた形で『スポーツ・人権・平和アクション』に取り組みます。すべての種目・地域で大きく成功させようではありませんか！

この取り組みを通じてスポーツ連盟をたくさんの方に知っていただき大きく飛躍の年にしようではありませんか！「スポーツは平和とともに！」の声を広げに広げていきましょう。

(全国連盟理事長 福島宏子)



第35回 全国スポーツ祭典 REPORT



連日晴天、真夏日のなか第35回全国スポーツ祭典「沖縄県大会」は、8種目の競技大会を2024年11月2～3日に開催しました。参加者、スタッフ合わせて約1700人が那覇市内を中心とした会場にたどり、成功裏に閉幕となりました。

全国スポーツ祭典は2年ごとに開催され、今回は10月19日の陸上競技大会（都立大井ふ頭）を皮切りに2025年2月23日のスキー競技大会（湯の丸スキー場）まで16種目19競技大会を開催します。

全国スポーツ祭典は1963年に、だれもがスポーツを楽しめるように、スポーツにおいて強制や差別をなくすことを願う青年、学生、スポーツ関係者の共同の力によって初めて開催されました。

この祭典運動から新日本スポーツ連盟（当時は新日本体育連盟）が誕生しました。以来、「スポーツは万人の権利」という基本理念のもと、文化としてのスポーツの発展を目指すという設立当時の思いが、現在の「全国スポーツ祭典」にも継承されています。

原点回帰の「複数種目・同日開催」

2000年代初めごろまでの全国スポーツ祭典は東京を主な会場とし、同日に複数の種目が開催され一体感のあるスポーツ大会でしたが、年々、スポーツ施設確保の競争率が高くなったこと、東京以外の関西や東海等のブロックを主管にした大会も開催するようになったことなどから、各種目が全国スポーツ祭典の大会名を冠して主管ブロック地域を中心に、それぞれ開催するような形となりました。

今回の35回大会は、九州・沖縄ブロック主管として開催しました。新スポ連の空白県である沖縄県連盟立ち上げの計画が2019年から動き出しましたが、コロナ禍の影響で一旦休止し、再び沖縄県連盟立ち上げに向けた動きに弾みをつけようとの思いから、約20年ぶりに複数種目を

同地域の会場に集め、同日開催できるよう種目関係者と連携、調整を行い、一体感のある沖縄県大会開催にこぎつけました。

沖縄県大会開催に向けては、通常のスポーツ祭典実行委員会とは別に沖縄県大会運営委員会を設置し、沖縄県大会に該当する種目の代表者、全国連盟、主管地域が一体となって準備を進めました。

種目の垣根を超えて 一体感ある交流

各種目の競技大会での特徴は、テニスでは地元協会の協力のもと沖縄県予選会が開催されたこと、バドミントンでも地元関係者の協力があったこと、空手演武大会では全沖縄空手道連盟の会長、副会長が列席したことや琉球大学の空手部・合気道部の演武があったことです。また、野球、バレーボール、シニアサッカー、ウォーキング、卓球の各競技大会でも地元沖縄県からの多くの参加がありました。

2日の夜に行われたレセプションは、各種目から500名を超える参加があり、海辺のバーベキュー会場丸ごと貸切として、種目を越えた交流を行いました。舞台では沖縄民謡やエイサーが行なわれ、参加者が思い思いに満喫し、新スポ連が新たな地でスポーツをみんなで楽しんでいこうというエネルギーの満ちたレセプションとなりました。

このように地元関係者、参加者、チームとのつながりができたこと、また種目の枠を超えた交流ができたことは、近年の全国スポーツ祭典から飛躍し、新たなモデルケースともなる大きな成果を得た大会だったと確信することができました。

今後はこの新たな人と人とのつながりを大切に育て、「いつでも どこでも だれもがスポーツを」「スポーツが主人公」「スポーツは平和とともに」の新日本スポーツ連盟の理念の花を沖縄県に大きく咲かせていきたいと考えています。

（全国スポーツ祭典事務局 宮内泰明）



また対戦できることを楽しみに！



2024 平和マラソン 全国で730名が参加

2024年 反核・平和マラソン実施一覧

北海道	9月14日	札幌市内コース	約40名
宮城	6月30日	泉区・七北田公園～青葉区・勝山公園	16名（スタッフ含む）
千葉	8月4日	千葉市内の戦跡を巡るウォーク＆ラン	6名
東京	6月15日	夢の島公園～渋谷・神宮通り公園	ランナー35名 サポーター20名
神奈川	7月13日	川崎市稲毛公園脇～神奈川公園	ランナー16名 サポーター5名
富山	6月15日	小谷部～倶利伽羅峠	ランナー8名 サポーター5名
石川	6月15日	倶利伽羅峠～津幡町役場	5名
	6月22日		4名
福井	6月22日	吉崎～旧あわら市役所	ランナー3名
愛知	6月9日	名古屋市千種スポーツセンター～若宮公園	14名（スタッフ含む）
	8月4日	鶴舞公園	7名（スタッフ含む）
	12月8日	春日井市高蔵寺周辺	ランナー146名
三重	9月22日	各地～津・お城西公園	35名（スタッフ含む）
滋賀	8月11日	大津港～大津プリンスホテル前	ランナー15名
	8月25日	大津市生涯学習センター	97名
京都	9月22日	銀閣寺道～梨木神社前	ランナー25名 サポーター2名
大阪	7月7日	府内10コースから大阪城公園	ランナー100名
和歌山	5月26日	和歌山市・市民スポーツひろば～紀の川市名手	11名（スタッフ含む）
広島	8月6日	広島城周回コース	25名
福岡	7月21日	北九州市内 勝山公園～桃園運動公園	ランナー6人 サポーター5名
広島～長崎	8月6～8日	広島平和記念公園～長崎平和公園	ランナー35名 サポーター44名



2024年反核・平和マラソンがすべて終了しました。今回は、17地域で実施され、トータルで730名が参加しました。引き続き、平和をアピールする運動を広げていきましょう。

フェイスブックに「大会行事」の広告を出しませんか？

「募集をしてもなかなか集まらない」「はじめての地で行事をするので地元とのつながりがない」という悩みはありませんか。全国連盟では、フェイスブックで、その種目に興味のある人に限定して大会情報を配信する広告を出しています。この広告は、地域・種目でターゲットを絞ることができるので、効果的に大会情報を宣伝することができます。

現在、広告料は全国連盟負担で出稿できますので、ぜひ活用してみたいという組織は全国事務局までご連絡ください。

新日本スポーツ連盟
広告

東京都予選6人制男子バレーボール大会への参加チーム募集中！



例えば、大阪のロードレースの場合
「大阪市から30km圏内在住」
「マラソンに興味がある」人に配信
(1行事あたり500～1500人)

新スポ連

活動継続

応援募金

昨年11月には沖縄県で8種目での合同開催による「沖縄大会」が開催されましたが、今後は、沖縄県連盟設立にむけた取り組みを含め、空白地域に新スポ連組織をつくる活動や、各地の取り組みをサポートする活動などを推し進めるよう尽力していきたいと考えています。これからも新日本スポーツ連盟が活

動を継続できるよう応援募金を行っています。ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

※送り先はこちら↓

郵便振替

口座番号 00110-1-56939

口座名義 新日本スポーツ連盟

第3回 全国理事会 報告

ポッチャの
実践



機関誌「ひろば」
の普及



新たな
県連盟づくり



「スポーツ・人権・
平和アクション」

RIGHTS



ジェンダー平等の
課題への対応



コンプライアンス
推進



2024年12月7日、「第3回全国理事会」がオンライン会議で行われ、29名が出席しました。はじめに福島宏子理事長が「2025年はデフリンピックという耳が不自由な方ための大会が、東京で初めて開催されます。是非、新スポ連でも注目していけたらいいのではと思います」と挨拶。その後、各局からの報告・提案について、討論が行われました。主な内容は以下の通りです。

①スポーツ活動・組織局

●ポッチャは各地で交流会が行われ、「自前の用具がほしい」という声も出てきている。全国連盟でも、2セット購入して活用したい。

②スポーツ権・平和運動局

●「反核平和マラソンオンライン交流会」を、2025年1月～2月の平日(19時～21時)に行うことを予定している。

●2025年は被爆80年になるが、従来の福島～東京～広島～長崎1800km反核平和マラソンに替えて、「スポーツ・人権・平和アクション」という形で取り組む。

●平和アクションに向けた「平和バンダナ」の制作を企画。デザインや予算を再度、スポーツ権局で検討する。

●スポーツ基本法の改正という話が出ている。これから本格的な動きが始まるかもしれないので、情報を入手できたらお知らせするようにしたい。

③国際活動局

●2025年2月に全国ランニングセンターの招待で、フランスFSGTとの交流を予定している。国際活動局とランニングセンターで意思疎通を図りながら調整する。

④広報局

●「スポーツのひろば」発行のあり方について、従来とは違う抜本的な対策をとる必要がある。3万人の新スポ連会員がいるなか、読者は1600部と少ない。現在は、(A)加盟員の5% (1650部)を無料宣伝誌として配布する (B)制作費をひろばサ

ポーターに寄付してもらう (C)紙版「ひろば」販売と並行して、電子版「ひろば」を販売する、という3つの方法を検討中。

⑤総務局

●傷害見舞金規定が古い状態のままなので、改訂できるよう検討する。

●全国卓球協議会が2025年に法人化する予定となっている。全国連盟でも法人化についての情報を共有して、可能なところで連携ができるようにしたい。

⑥スポーツ科学研究所

●叢書第1巻の執筆準備をしているところ。運営委員会総会を2025年3月下旬に、研究会と併せて行う予定。

その後、スポーツ庁への要請についての議論では、「新スポ連としての問題は施設が利用しやいかどうか。国のスポーツ政策は、『見るスポーツ』に力を入れる傾向になり、施設が借りにくくなっている。施設の統廃合によって、格差が生まれてくるのではないか」「毎年、自治体に要請書を提出している。なかなか思うように要望を受け入れてもらうことができないが、地道に取り組んでいる」などの意見がありました。

また、新スポ連への加盟条件や分担金に関わる規約変更については、「2026年全国総会に向けて、組織検討委員会で検討していく」ことになりました。それぞれの種目や地域の事情を尊重しながら、規約にどう反映させていくかが課題です。

最後に、置田康典理事長が「ポッチャの普及について、新スポ連で組織を立ち上げられるよう協力をお願いしたいです。今後は、『ひろばの普及対策』『コンプライアンス推進』『法人化の検討』などの課題に真摯に向き合っていきたい。また、新スポ連への加盟条件や分担金の関係の規約変更等について十分に議論していく必要があると考えています」と挨拶し、閉会となりました。



スポーツは
平和とともに!

第36期 主要事業予定一覧

(2025年1月～11月)

全国会議・事業

2025年1月	12日	
	24-26日	
2月	1日	
	3日	「スポーツのひろば」3月号発行
	8日	第1回評議員会
	15-16日	
	22-23日	
3月	3日	「スポーツのひろば」4月号発行
4月	1日	「スポーツのひろば」5月号発行
	5日	第4回全国理事会
5月	2日	「スポーツのひろば」6月号発行
	24日	
	31日 - 6月1日	
6月	1日	
	9日	「スポーツのひろば」7・8月号発行
	14日	
8月	1日	「スポーツのひろば」9月号発行
	10日	
	23日	第4回全国理事会
9月	1日	「スポーツのひろば」10月号発行
10月	1日	「スポーツのひろば」11月号発行
11月	4日	「スポーツのひろば」12月号発行
	8-9日	
	11日	新スポ連創立記念日(60周年)

都道府県連盟・全国種目組織

新春マラソン(愛知・大阪・兵庫)
第35回全国スポーツ祭典卓球大会(年代別の部)
新春マラソン(宮城)
第35回全国スポーツ祭典卓球大会(一般の部)
第35回全国スポーツ祭典スキー・スノーボード競技大会
東京都連盟総会
全国選抜軟式野球大会
あいち平和大好きマラソン
三重県連盟総会
あいち反核・平和マラソン&ジョギング
全国ウォーキングフェスティバル滋賀

スケジュールを
WEBでチェック↓



全国連盟のスケジュールは、PCやスマホから見ることができます
(googleカレンダー)

求人案内



全国事務局のアルバイトスタッフを募集中です。新スポ連の活動を支える仕事をしたいという方、ぜひ応募下さい。

アルバイトスタッフ募集!



時間、日数、応相談
会計の経験ある方歓迎

- 仕事内容 ● スポーツ団体の管理会計業務
- 時給 ● 1,200円
- 募集人員 ● 1名 ※新スポ連加盟員(新日本スポーツ連盟の活動趣旨に賛同する方)対象
- 勤務地 ● 東京事務所(JR田端駅より徒歩2分)
- 勤務時間 ● 平日の10時～17時の間で
1日4時間程度 週2回(応相談)

応募・問い合わせ先
TEL: 03-5834-8726(担当: 佐藤)
メール: zenkoku@njsf.net

編集後記

お正月の風物詩・箱根駅伝を見に行く。といってもわざわざ箱根まで足を運んだのではなく、大手町の読売新聞社前。ものすごい人だかり。なぜみんな駅伝が好きなんだろう。道端で応援の旗を渡され、ちょっとテンションが上がる。なぜ人は旗を持つと元気が出るのだろうか。そしてスタート。選手がひとかたまりになり、一瞬で過ぎ去っていった。「がんばれ～」と声を出す間もなく…。(佐藤)

新スポ連「スポーツのひろば」 LINE 公式アカウント



各地・各種目の新スポ連の最新情報や機関誌「スポーツのひろば」の内容を定期的に配信します

友だち
募集中